

まちづくりワークショップ成果報告書

研究日時 平成20年2月24日（日）

13:30～16:00

場 所 総合体育館研修室

1 グループ名 健康福祉グループB

2 研究成果 別紙のとおり

3 グループメンバー

(1) 公募住民（4名）

天沼佐智代 熊谷くるみ 竹内恵子 竹内正恵

(2) 団体・機関（1名）

浅海伊佐男（社会福祉協議会）

(3) 準備委員（5名）

塚越裕子（ファシリテータ） 山田あつ子

鈴木浩 石森美波子 鈴木孝児

(4) 職員（2名）

鈴木愛三（保健センター所長） 荻野広明（保育係長）



健康福祉グループB

※ タイトル右欄の数字は、相互評価ポイント

○高齢者・子どもと一緒に過ごせる場所 29P

住民・行政・社協・保健センター・サークル・サロンなど、子育て支援にかかわるグループが、協力して情報交換できる場所。

ひとり親家庭が、優先的に利用できる施設。

小さな子どもをもつ親子の集える場所。

気軽に集える場を身近に作る。

道路にベンチがほしい。

公共施設での保育。

食育などを考えると、調理施設がほしい。

高齢者、障害者、子どもが集える場。

年齢に関係なく、立ち寄れる居場所づくり。

3才位までの子どもを育てる、父母と子どもが参加する場所。希望する。

○障害者支援のグループホーム(既存施設を使用して) 13P

一人暮らしの老人の生活支援。

要介護保険を利用することができないお年寄りへの支援。

○よくばり型ホーム(住民すべての方が参加できる施設) 12P

福祉施設
自立支援法に基づき障害者のためのグループホームを設立。三芳町の貸家を借りて(60ヶ所位)生活をする。

認知症の方の財産管理等の生活支援について

○総合情報掲示板・情報紙 3P

施設の中に情報、総合支援ネットワーク。

掲示板の数を増やすこと。そのマップを配ってほしい。

それぞれボランティアグループの詳しく書いた情報がほしい。

三芳町の福祉のいい所を発見する探検隊を結成。